

2023年7月24日

医療関係者各位

日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会

### HPV ワクチン定期接種促進と正しい接種に向けたご案内

HPV ワクチンは 2013 年 4 月から定期接種化されましたが、同年 6 月、接種後の多様な症状等の報告を受け、国は積極的勧奨の差し控えの方針を打ち出しました。それ以降、接種者は激減しました。その後、子宮頸がんの発症予防効果が確認され、接種後に何らかの症状を認めたお子様に対しては、各都道府県に協力医療機関が選定されたこともあわせて、2021 年 11 月から、積極的勧奨が再開されました。

しかしながら、その接種率はいまだ上がっておりません。海外のみならず国内の長期フォローアップデータを見てもこのワクチンの効果は明らかであり<sup>1)2)3)</sup>、子宮頸がんの患者さんを少なくするためには、接種率をさらに向上させる必要があります。

・12 歳～16 歳（小学校 6 年生から高校 1 年生相当）の女子が定期接種の対象ですが、積極的勧奨が差し控えられていた間に接種機会を逃した下記の方に対しても、2025 年 3 月までの時限措置として、**キャッチアップ接種\*が推奨**されています。

#### \*キャッチアップ接種対象者

2023 年度は、平成 9 年度～平成 18 年度生まれ（誕生日が 1997 年 4 月 2 日～2007 年 4 月 1 日）の女性、2024 年度は、平成 9 年度～平成 19 年度生まれ（誕生日が 1997 年 4 月 2 日～2008 年 4 月 1 日）の女性で、いずれも過去に HPV ワクチンの接種を合計 3 回受けていない方。

・現在サーバリックス®、ガーダシル®、シルガード®9 の三種類のワクチンが使用可能で、いずれも 3 回接種です。ただし、**シルガード®9 に関しては、1 回目の接種を 15 歳になるまでに受けた場合、2 回接種で十分な免疫が付与されることが確認**されており<sup>4)</sup>、医療費削減、被接種者の負担軽減の観点からは 2 回の接種で問題ありません。

#### 参考文献

1. Lei J, Ploner A, Elfström KM, et al. N Engl J Med. 2020 Oct 1;383(14):1340-1348.
2. Shiko Y, Konno R, Konishi H, et al. BMC Infect Dis. 2020 Nov 5;20(1):808.
3. Kudo R, Sekine M, Yamaguchi M, et al. Cancer Sci. 2022 Sep;113(9):3211-3220.
4. Bornstein J, Roux S, Kjeld Petersen L, et al. Pediatrics. 2021 Jan;147(1):e20194035.